

1 社会・治安情勢

サンパウロの治安は依然として回復の兆しを見せず、サンパウロ市及び周辺の都市においては、拳銃を使用した強盗事件や強盗殺人事件などの凶悪事件が昼夜を問わず多発している。また、パウリスタ大通りを中心に、様々な目的を掲げるデモが継続的に発生している。

2 一般犯罪・凶悪事件の傾向

(1)殺人の発生件数は減少しているものの、邦人被害が多発している強盗や窃盗については増加傾向にある。特に強盗事件については、そのほとんどが拳銃を使用したものであるため、細心の注意が必要である。

(2)邦人被害

ア 強盗

(ア)7月1日午後8時頃、当館入居ビル出入口付近で、邦人がタクシーから降車しようとした際、徒歩にて突如現れた賊が所持していた拳銃で右側後部ドアを叩いて威嚇した上、車両内に半身を入れて邦人に拳銃を突きつけ時計と財布を要求したことから、邦人が手持ちの現金を差し出したところ、賊は現金を奪って逃走した。

(イ)7月15日午後4時頃、中央市場付近を邦人が歩いていたところ、突然背後から男に腕で首を絞められたことから、咄嗟にバッグを抱え込んだところ、別の男から殴る蹴るの暴行を受け、ストラップで腕に下げていた iPhone とバッグを強取された。

(ウ)9月12日午後3時頃、リベルダージ区の旅行社にて邦人が航空券の手配、換金などをした後、サウーデ区ウバイアス通りを歩いていたところ、男にショルダーバッグをひったくられそうになったため抵抗したところ、拳銃を突きつけられショルダーバッグを強取された。

イ 窃盗

(ア)7月13日午前9時頃、リベルダージ地区のファストフード店において邦人が飲食していた際、70代くらいの男性が目前でコインを落としたことから邦人が拾うのを手伝っていたところ、対面の椅子に置いていた旅券や現金等在中の鞆を別の物とすり替えられた。

(イ)8月19日午後5時頃、地下鉄 Linha Azul 車内(リベルダージ、ポルトゲーザ・チエテ駅間)において、邦人が気づかないうちにショルダーバッグのファスナーを開けられ、旅券と現金が入ったケースを抜き取られた。

(ウ)8月28日午後2時50分頃、パウリスタ大通りとマリア・フィゲレイロ通りの交差点付近を邦人が歩いていたところ、自転車に乗った男にスマートフォンをひったくられた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

1 テロ事件の発生は認知していないが、伯連邦警察の「Hashtag 作戦」により、テロ行為準備容疑で複数名が検挙されている。

2 現金を目的とするATMの爆破はサンパウロ市内を中心に多数発生している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当該諸問題に関する情報には接していない。

以上

在サンパウロ日本国総領事館

Av Paulista 854 Sao Paulo SP

TEL 3254-0100